

鳥の博物館の利用に関するアンケート（速報版）

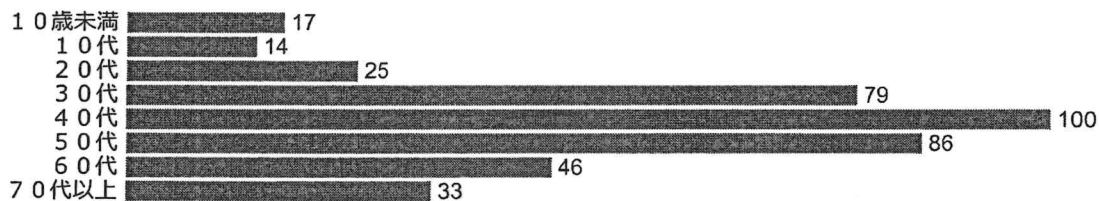
■調査方法：電子アンケート、紙アンケートの2方法で実施。
QRコードを載せたポスターを市内公共施設に掲示。HPでも周知
紙アンケートは鳥の博物館でのみ実施

■実施期間：令和5年9月15日（金）～10月15日（日）

■回収結果：電子アンケート 270票
紙アンケート 130票
回答総数 400票

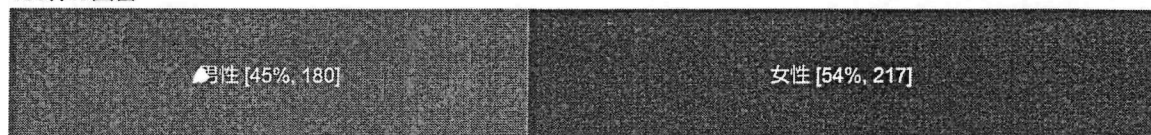
Q1 あなたの年齢を教えてください。

400件の回答



Q2 あなたの性別を教えてください。

400件の回答



Q3 住んでいる場所を教えてください。



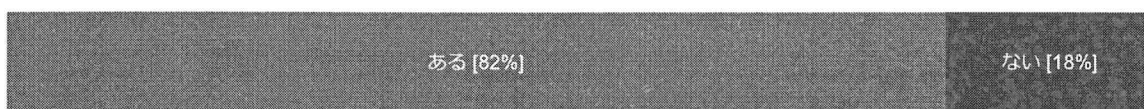
Q4 鳥の博物館を知っていますか。行ったことはありますか。

396件の回答



(Q4で「知っているが行ったことはない」の人に)

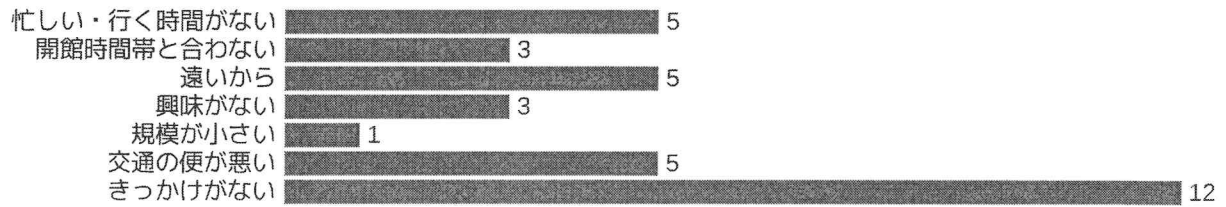
Q5 行ってみたいと思ったことはありますか。



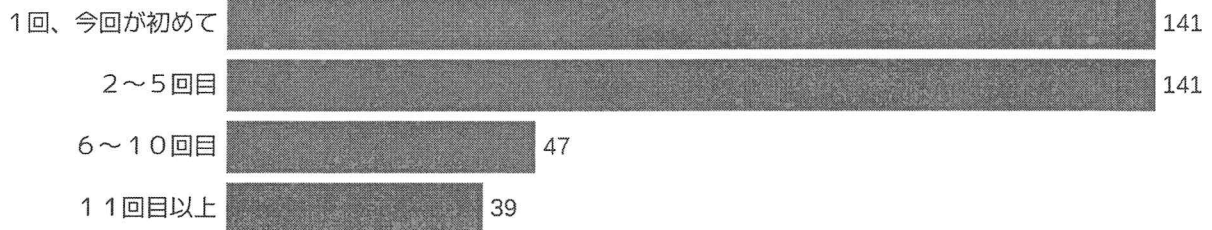
● ある [18] ● ない [4]

Q6 行ったことがないのはなぜですか。(複数回答可)

22件の回答



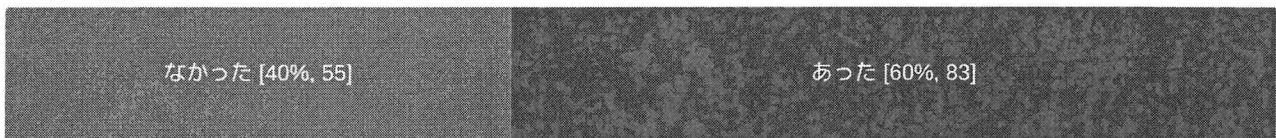
Q8 これまでに何回くらい鳥の博物館に来たことがありますか。



(Q8で「1回、今回が初めて」の人)

Q9 来館する前と後で鳥の博物館の印象に変化はありましたか。

138件の回答



(Q9で変化があった」とした人)

Q10 印象はどのように変わりましたか。

78件の回答

鳥の世界はよくわからない

想像より展示数が多かった

たのしかった。

思っていた以上に良かった。種類が多かった。

鳥の美しさ、生態、生物学的な知識など、総合的に学ぶことができとても有意義だった。またぜひ来たいと思った。(こんなに盛りだくさんとは思っていなかった)

良くなった

展示物が多く、とても良かった

思ったよりたくさんのハクセイがあった

想像より模型やはくせいが多く見ごたえがあった

思っていた以上に資料が充実していた。

こんなに鳥類のハクセイが置いてあるとは思わなかった。楽しい

素晴らしい。

こんなにたくさんの収蔵物が見られると思っていなかったです。

もう一度来たいと思う

非常におもしろい所

とても展示物が多くお土産が充実してます

通るだけだったので、内部の様子が良くわかりました

鳥の興味がさらに増した

鳥の種類の違いについて印象が変わった。模様や色に印象が変わった。

はく製が中心かと思っていたが、内容でまた来たいと思った。

鳥の世界楽しかったし、凄かった。

鳥についてあまり多くのことを知らなかったが、手賀沼を含む多くの自然の中であらゆる目の鳥が生きていることを知ることができ、すごく面白く、想像以上だった。

実物のはくせいなどを見ると感動した

鳥博の美しさに驚きと、鳥類保存をしなければならぬと思った。

いろいろな鳥がいるのにビックリした

鳥の種類が多種類である事を理解した。

内容の豊富さにびっくり

考えていたより数倍よかったです。

思っていたよりおもしろかった。

普段目にする鳥に注目してみようと思った。

広すぎずコンパクトでも充実していて手頃に楽しめると感じました。

思ったより広くて専門的で分かりやすかったです。

内容がとても専門的だった

いっぱい鳥がいた

みやすかった

とりがいっぱいでたのしかった

鳥の生態や構造まで詳しく展示されていて興味深かったです。

鳥の小ささや大きさなどが分かって、印象が大きく変わった。

よかった

見ていてすごく楽しかった

又来館したいです。

鳥に興味をもてた

予想以上に面白かった

予想以上に充実していた。展示の仕方も凝っていたし剥製の種類も多く見る充実感があった。

良かったです

展示数が豊富

図書コーナーが充実している

鳥のいろんな知識をわかりやすく深めることができる！

手賀沼にたくさんの鳥がいる事が分かりました

よくなった

以外に展示が充実していた。

想像していた以上に多種多様な鳥についての展示があった。

思っていたよりも充実しており、期待以上だった

どんな風に展示しているのかイメージが湧かなかったが、鳥の体の構造など勉強できてよかった

我孫子の自然に親しみを持った

ただ剥製をいっぱい並べているだけでつまらなかった。

展示品のジャンルは、予想より豊富だった。

こんなに鳥が身近にいたとは知らなかった。

とてもよい博物館だと思った

思ったより小さい博物館だったが、鳥への熱意が感じられてとても良かった。

思ったよりもたくさんの鳥が展示してあって面白かった

子供が楽しめる

ボリュームがあり長時間楽しめました。

訪問前:地方の資料館。展示量に期待していない。

訪問後:博物館として十分に満足できる展示量。学びも多く非常に満足した。

かなりの数の鳥の標本と、鳥の標本を自然に近い形で展示しているところ

思っていたよりもボリュームがある

剥製など実物資料が多い

説明が詳しい

日本のみならず海外の鳥も多くいて、見る事が出来て良かったです。

地味な場所かと思っていたけど、凄い場所だった

思っていたよりも、短時間で見終わってしまった

外観は地味で魅力がないが、展示物はとてもきれいで素晴らしかった。

意外と楽しめた

想像より見応えがあった

ここでしか観られない展示が多く、面白かったです。

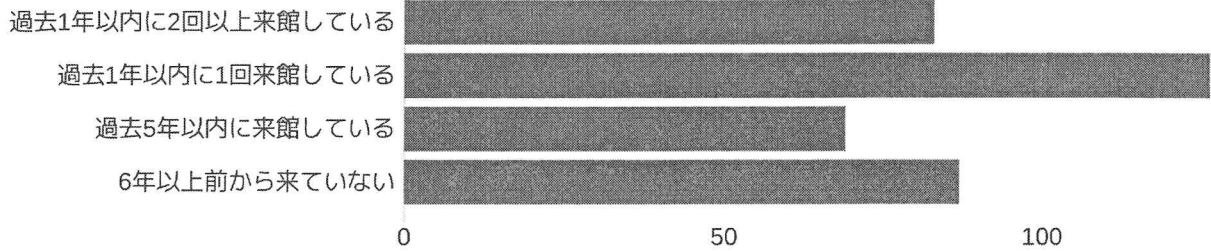
もっと、ただ可愛いだけの展示かと思ったから、剥製が生きているようで、自然な姿が想像できた。

鳥類の生態を詳しく展示されてる事に、大変勉強になりました。

こんなにたくさんの剥製があるとは思っていませんでした。

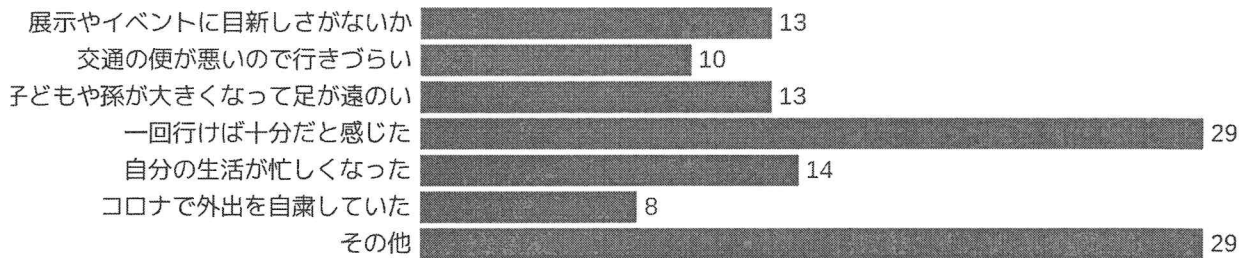
3歳の子供と行きましたが、1回行って終わりかなと思っていましたが、子供が大きくなったらまた連れて来たいと思いました。

Q11 今日を含め、ここ数年の来館状況を教えてください。

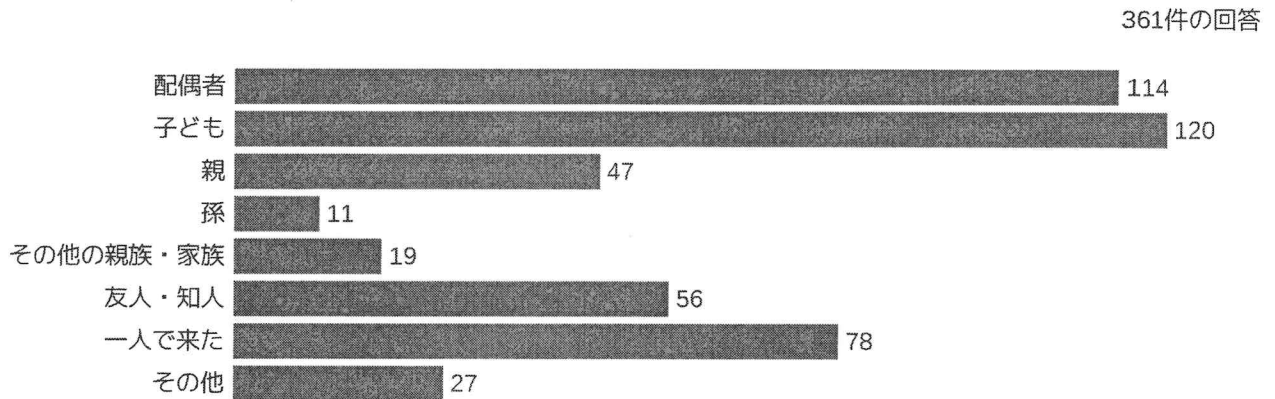


(Q11で6年以上前から来ていないとした人)

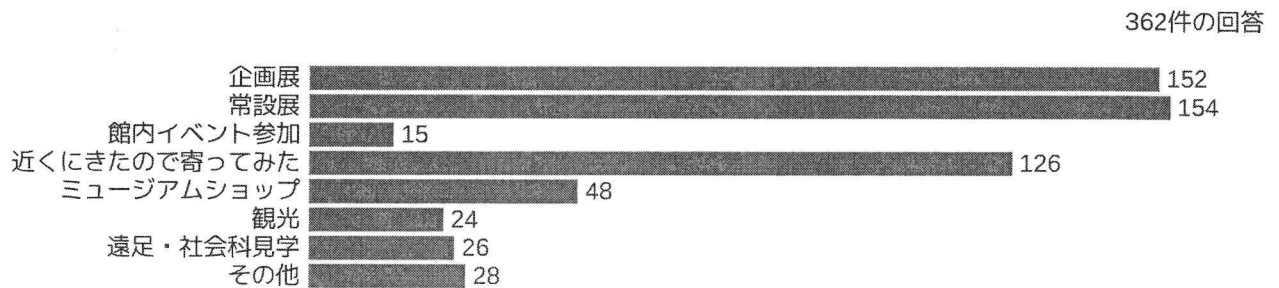
Q12 来館されていない理由を教えてください。(複数回答可)



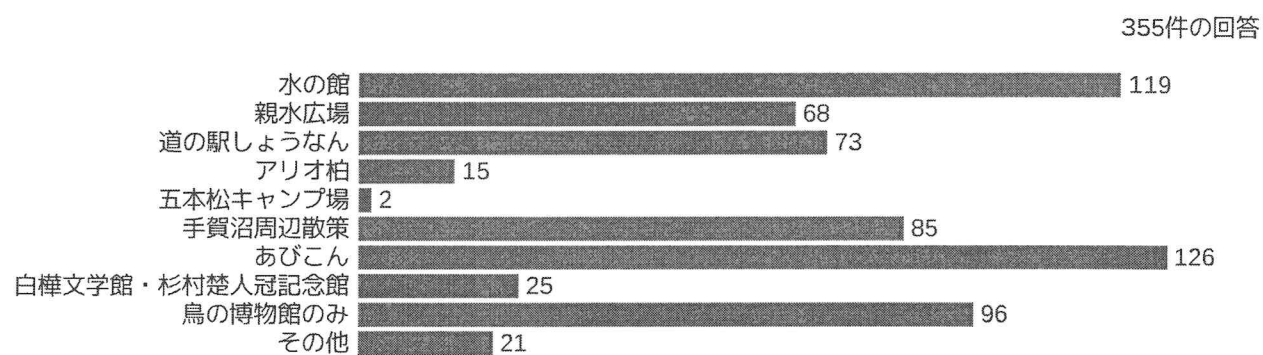
Q13 今日を含め、直近で来館した時は誰と一緒に来ましたか。（複数選択可）



Q14 来館目的は何でしたか。（複数回答可）



Q15 ご来館の際に訪れた（訪れるつもり）場所を教えてください。
（複数回答可）



Q7, Q16 鳥の博物館は9:30～16:30に開館しています。利用しやすいと思う時間帯をそれぞれ記入してください。

開館時間（回答数302）

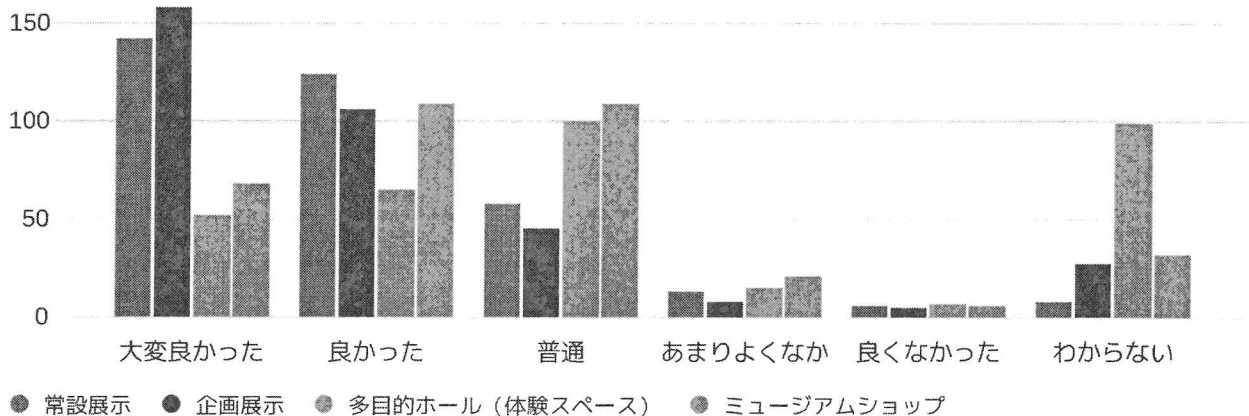
- ・ 09 : 00 60 (20%)
- ・ 09 : 30 135 (45%)
- ・ 10 : 00 85 (28%)
- ・ 11 : 00 4 (1%)
- ・ その他 18 (6%)

閉館時間（回答数315）

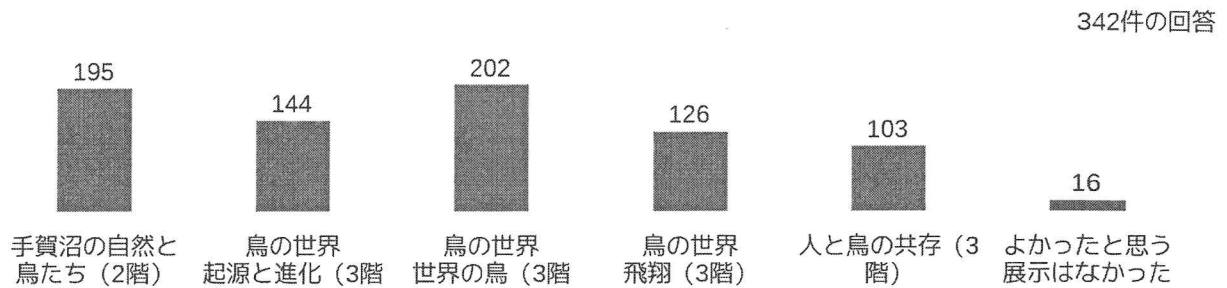
- ・ 16 : 00 14 (4%)
- ・ 16 : 30 95 (30%)
- ・ 17 : 00 145 (46%)
- ・ 17 : 30 10 (3%)
- ・ 18 : 00 30 (10%)
- ・ 19 : 00 7 (0%)
- ・ その他 18 (6%)

Q17 展示・施設の満足度について教えてください。

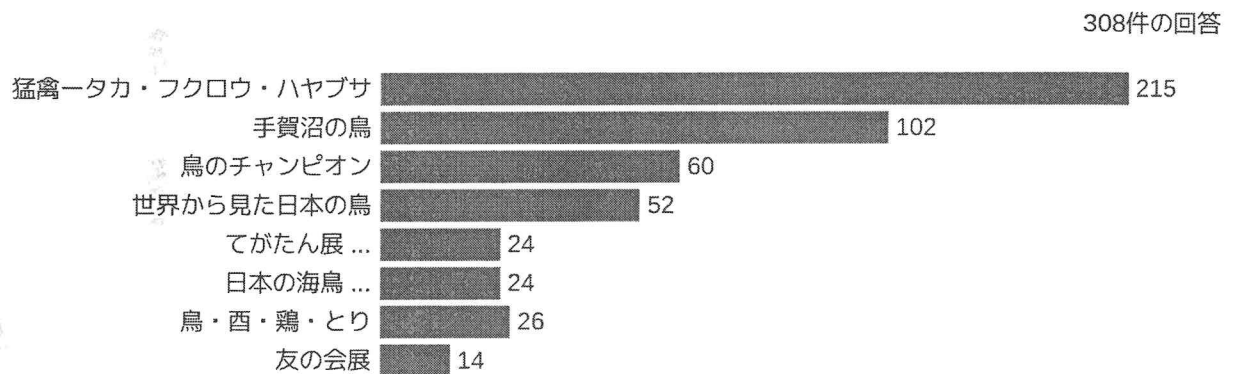
351件の回答



Q18 良かったと感じた常設展示はどこですか（複数回答可）



Q19 良かったと感じた企画展はありますか。あれば、すべて教えてください。（複数回答可）



Q20 これからの我孫子市鳥の博物館にどのような展示を期待しますか。(任意)

192件の回答

ありません。

遊び心のある展示。くすっと笑える展示
全体を通してのクイズラリーなど

キジ科 日本の絶滅危惧種

身近な鳥の展示や生態など
めずらしい生態や体の特徴

今回で満足しているので、これ以上は特にはない。

鳥の色々な企画をしてほしい

手賀沼の鳥に関する展示

生きててんじ

飛び出す3D映像

骨格標本も一緒に展示いただけると楽しそう。肉と羽毛があることでどう見え方が変わるのか知れて

身近な鳥も含め、鳴き声の展示が充実しているのもよいと思う。

鳥の鳴き声がわかる展示があるとおもしろい。
(家の近くで鳴いている鳥の名前がわかりそう)

企画として身近に居る鳥を扱うなどふだん鳥を気にしてみる動機づけの様なことをしていただけたら

体験できる展示を多くして欲しい

ある程度最新の知見を知ることができるような展示(ペーパーでも)

いろいろなイベントがあれば足を運ぶ機会も増えると思います。

今回のような企画展。特定の鳥や種についてじっくり学べる。そもそも猛禽類の定義が実はハッキリしていないとか!!

VTRで生態を紹介する。
似ている鳥の見分け方の紹介。

更に多くの人に鳥博を知ってもらえるような機会をつくれるとよさそうだと思います。

日本の中で1つしかない博物館
山階鳥類研究所も近くにあるので鳥類、自然のことを発信してほしい。
日本、世界でも大切な博物館これからも期待します。

手賀沼の鳥についての詳しい展示

鳥の生態に関する動画、展示物

日本の鳥

Q16の鳥を希望します

ミニシアター的なのでしょうか？
3Dなども今後ありでは？

アートなどを期待しています。

たかじょうを実際に見られる機会があればなーと思います。

鳥のお絵かき教室、鳥の紹介があるミニシアター（目と耳と五感）

鳥の映像などがあるとよいかと思います（動きと声）

鳥とのふれあい

鳥の種類で特に、カラスや鳴き声について印象を持ったので、もっと鳥の歴史などを学びたいと思った。

生きている鳥
さわれる

俗なようだが、巨鳥と記念撮影できるとか。食べられる鳥、家畜化された鳥とか。食肉部位と名称とか。

自然の中にいる様なサクサクする様な鳥作り

どういう理由で目が分けられているかが、明確だとより知識が増えるため。目の分け方を明示していただけるとありがたい。

今ので満足。特になし

鳥に対する探求という特色を大事に追求してもらいたいです。

鳥と共存できる工夫（ハトやカラスも含めて）

- ・松戸市内で見られる身近な鳥を場所、姿、声とセットで知りたいです。
- ・鳥の飛び方は分かりました。では鳥が飛べなくなる条件はあるのでしょうか？→そんな、ちょっと雑学的な知識が得られる展示。

世界の中の鳥類との比較です。

千葉県の鳥

羽のてんじ

身近なインコとか文鳥の特集もみたいです。

- ・シリーズ化したイベント
- ・身近な鳥シリーズ

実物にされる展示。

されるてんじ

鳥の起源...いわゆる生物学会では「鳥は恐竜」という認識なのでそのあたりの展示を充実更新してほしい。また、化石鳥類についてもある程度更新、改訂してほしい（鳥の分類 2008版については頑張っていると思う）

どの鳥がどの季節にどこでどの時間帯に見れるのかも教えてほしいです。

日常生活で身近にみられる鳥の生態や見られる場所（地域）等

このまますばらしいてんじをつづけて下さい。

フクロウは人気があると思うので、何度もやってほしいです。

フクロウの展示が見たいです

むかしの鳥

国立科学博物館の展示をここでも見たい

とりのすをやってもいい

生きているとりのてん示

にわとり

鳥の研究成果を分かりやすく展示するコーナーがあると良い。講演会の内容など新しいもの

外国の鳥のたまごを展示してほしい

日本には600種の野鳥が見られるときいています。少しでも多くの鳥を見てみたい。

種類がもったいもう少し低く子供でも見やすい展示

小さい子どもが見ても怖くないもの(剥製の展示室が怖いと言っていました)

視覚・聴覚で楽しめる動きのある体験型アトラクションなど。（予算面で可能であれば）参加者に景品として野鳥がデザインされたオリジナルキーホルダーを提供すると記念品として博物館を想起させ子供たちをはじめリピーターが増えるのではないか。

鳥の鳴き声（実際の音声）で鳥名が検索できるような展示があるといい。

（鳴き声を聞いて何という名前の鳥かを知りたいのに、それを知る手立てがない）

国内に誇る鳥の博物館で、貴重な市の財産だと思っています。ただ、現状だと、遠い、行きにくい感がとても強く、よほどきたいと思った人でなければ、足を運ぶことが困難だと思います。バスの工夫を市に努力してほしい。地域のバスの最寄りバス停でアナウンスしてもらい、駅表示など、不便感が少なくなるような工夫を、市にも部署横断的に努力してほしいです。

また、最近、NHKでも、我孫子の話がよく取り上げられています。鳥博がもっとメディアに取り上げられるようアピールが必要だと思います。

子供たちが自然に親しむことができるような体験型のみ展示

可愛いインコ

シマエナガのことについてもっと知りたいです。

世界の渡り鳥

いつも楽しく見学に行かせていただいております

子供でもわかる展示

バードウォッチングをする時のここを見付けての様なプロから見た本格的な見どころ。

生体の姿と骨の姿両方が比較できる展示

精巧な剥製や模型の展示が多いと見応えがあり良いと思います。

生きた鳥の展示

鳥の体の構造の解説展示

学芸員の館内での解説

- ・世界の珍しい鳥の剥製が見られること
- ・かっこいい鳥やかわいい鳥おもしろい鳥展（学芸員さんのチョイスで選んで点数やグラフにしてみる）
- ・鳥の骨展（クイズやそれぞれ異なるところ）
- ・くちばし展
- ・羽展（実物大の比較や特徴）

今の展示方法も実際の鳥がいてとてもおもしろいです。

寒くなったら是非シマエナガを特集してほしいです。インコなど、カラフルな鳥達の特集もあればいいなと思います。

世界の絶滅危惧種の鳥

人の日常の生活では見ることの出来ない鳥の展示、生態の詳細な解説など

猛禽展のような、普段触れることのない鳥へのフォーカス。説明も程よく詳しく、程よくマニアックで（家族や友人に語れるくらいの難易度）大変おもしろかったです。

見やすい高さでの展示
案内、設備のデジタル化
生息地域をもう少し細かく（特に日本国内）
企画展の増加
ショップの充実

鳥の不思議が納得できる展示。

子どもが鳥に触れられるような体験型の展示

解説のわかりやすさ

企画展のコーナーで、剥製で捕食の様子が見られるところが小さい子どもでもわかりやすく良かったです。パネルの説明もとてもわかりやすかったです。

昔からクイズが好きでした。もし可能なら、常設展又は企画展にあわせた紙のクイズみたいなものをお子さん向けにやっても良いのでは。

館内に設問を何個か配置しておき、入口で回答を記す紙を配付。丸付けして、特製スタンプでも押してもらえる（シールとか記念品があればなお良し）と楽しいのでは。
時々クイズの内容も変えましょう。

ペーパークラフト体験や鳥の模型に色塗り体験など鳥と楽しく触れ合う企画があれば子どもは喜ぶと思う。

実際の鳥と触れ合えるスペース

地域による鳥の体の作りの違い

雪国の鳥

子供を惹きつけるような、ボタンを押して鳴き声が鳴るような物をもっとリニューアルで新しくなればと思います。

今日は塗り絵も楽しかったようです。

欲を言えば、手賀沼を眺めながらお茶が出来るような場所もあると嬉しいです。鳥の博物館らしく、鳥のラテアートなどあるとつい飲んでしまいそうです^_^

狩猟

市内にこのような施設があるのは知っていましたが、初めてきました。

最後のクイズ、小学生には難しいと感じました。未就学児でもできるレベルの問題もあると良いのでは。問題にも振り仮名が欲しいです

本物をみたいです

- ・iMacのコーナーをもう少し新しいものにしていただけると、面白くなると思います。(コンテンツはとても面白く、子供も喜んでいました！)
- ・子供に教えるのに身近な鳥を増やして頂きたいです。
- ・水の館周辺にも観察施設があると嬉しいです。
- ・鳥カフェのようなものがあると嬉しいです。

定時に学芸員の方の解説・案内付きの展示があると理解が深まっていいと思います。

本や絵画に登場する鳥の紹介

わかりやすく、勉強になる常設展示を期待します。鳥がどんな生き物か小学生ぐらいでもよくわかるようなものが望ましいです(難しいですが)。哺乳類や両生類との違いなどもあるといいかもしれません。最近の子供は動物に触れる実体験が少ないので、別の分類群も勉強できればそれはそれで良いと思います。

現状の手賀沼ジオラマは出来栄がよかったので維持するか、同様のものをリニューアルしてほしい。ただし、現状の手賀沼とジオラマが作成された当時では自然環境が変わったと思います。

企画展は当然定期的開催してほしいと思いますが、鳥にこだわるとネタ切れになるのも仕方ないので、あまりこだわらない企画でも良いと思います。

剥製の展示と、さまざまな解説はとても良かったです。

ミュージアムショップはもう少し充実していれば何か買ってみたかったです。

什器のテーブルや階段スペースなどデザインや工夫次第で良くなりそうです。

楽しい企画

鳥に関する行動(バードウォッチングとか写真撮影など)のノウハウを教えてくれる展示

一面の鳥の剥製コーナーは継続してほしい

ムクドリ、コブ白鳥、カラスなどの、増えすぎた鳥とどう共存するかなどの難しい問題を考える展示

鳥の背中にのったら、どんな景色がみえるのか、展示とか映像とか何か体験ができる施設になると楽しそう

難しい漢字が読めないで、子供向けの解説やガイドブックがあると嬉しい。

極楽鳥展

鳥のあれこれ、意外な視点

鳥の超能力

手賀沼のジオラマ、羽や卵や巣の標本、タブレットやスマホアプリでの展示説明

私は野鳥の観察がとても好きなので、とても興味深い展示で大満足です。しかし、あまり興味が初心者の人でも入り易いような工夫があるといいのでは?と思います。たとえば、シジュウカラ、ジョウビタキ、コゲラ等、野鳥に関心のない人が身近にいるのに見つけていないような鳥に重点を置いた入門者用の展示。また、剥製が案外、生きている時の様子と違うものを感じる場合があるので、大きな絵や写真も取り入れてみてはいかがでしょうか。とても素晴らしい博物館だと思いますので、益々のご発展を期待しております。

手賀沼に実際にいるような様子の展示(沼の植生とあわせた展示・2階常設展)がとても良かった。

鳥の詳しい説明がもう少しあると面白いかもしれない

非常に多い標本を壁際に置くのではなく、前後から観察できるようにするとか、飛んでいる姿を上下から見れるようにするなど、展示方法に工夫の余地がありそうにおもえる。

専門的で難しすぎる。学芸員の能力不足と館長のチカラ不足。

以前の企画展であった類似した鳥を見分けるような展示や、都市鳥を中心とした展示、外来種を中心とした展示、季節によって姿が変わる鳥などの展示を希望します。全体的に展示ケース内が薄暗い印象を受けます。ケース内の証明を少し明るくしても良いのではないのでしょうか？

空間デザインがちゃんとしたやつ、宮崎県立西都原考古博物館みたいな

色々な種類の鳥が剥製（？）の形で見れて、展示物自体は非常に充実してるように思いました。また、鳥の構造など、鳥の博物館ならではの解説があって面白く勉強になりました。階段に飾られている絵もきれいで良かったです。

ただ、流れている映像が古かったり、鳥の凧が少し埃っぽかったり、展示のパネルとかの字体とか少し古い印象を与えてしまうのかなと思いました。

なので、展示物というよりは、せっかく素晴らしい展示物なので、レイアウトとか流れている映像とかを新しくしたらもっと良いのではないかと思いました。

小さな子供達も何度も行きたくなるような場所にして欲しい

身近な野鳥の展示をもう少し充実させてほしい。

頑張ってください

剥製の他に可能な限り、生体の展示ができ観察できるとありがたいです。

漫然と展示するのではなく、我孫子や手賀沼にゆかりのある鳥、季節ごとに飛来する渡り鳥などの生態を分かりやすく紹介するものや、身近で社会的に問題になっているカラス、ハト、ムクドリなどの生態や対策を紹介する展示をしてほしい。

アジアを代表する沼に生息している鳥の紹介など。

小さい子どもでも遊べるようなイベントや展示

鳥がもたらす人間の生活への影響について、例えば、愛玩鳥の歴史や効果、鳥インフルなどの感染、鳴き声などの騒音、食料としての鳥、鷹匠による狩りなど、身近なテーマで関心を引く企画。

来るまでの案内標識が少ない。

レンタルサイクルが有人なので朝早くに借りられず、手賀沼散策で時間の制限ができています。

我孫子を訪れる渡り鳥達が書鳥扱いされているので、理解を促す様な展示。

学芸員の博物館に対するセンスが全くない。館長は何をやっているのか？

鳥の成長

鳥の進化の歴史を学べる4Dシアター、小さな子供が楽しめるインタラクティブ展示の新設。市内には、子供が楽しめる施設が少ないので是非実現して欲しい。

できれば、てがたんの頻度を増やしていただき、企画も野鳥にフォーカスし続け、子供たちを中心に野鳥の保護や研究に関心を持ってもらえるような機会を増やしてほしい。

所蔵されている貴重な剥製などが常時たくさん見られるような展示を期待します。

ふくろうカメラはとても良かった
来館できなくても家庭で楽しめた。復活してほしいと思います

鳥類の研究の歴史を積み重ねてきた我孫子市鳥の博物館だからこそできる昔から今へ繋がる研究の展示（昔はどんな風に研究していたのか、今と変わらないのか、どんな研究者がいたか等）

体験 自分が鳥になったらといった内容のバーチャル世界が体験できる

今日的課題

進化

本物の鳥の展示があると良いと思います。

生きている鳥の展示があると良いと思います。

日本の山にいる鳥

良い展示だと思うので良い博物館を維持してください。

ただし、今回、取材？が同じ場所を何十分も占拠していた。その後、一言もなし。あまりにも酷い。

クイズラリーなどして、こどもたちも興味が持てるように工夫してほしい。

実際に見た時に、どの鳥か気づけないことがあるので、見分けるコツを紹介してくれると嬉しいです

鳥の鳴き声分かるような展示。身近な鳥の見分けがつくようになるような展示。

できれば鳥の鳴き声や飛ぶ姿も音声、映像で見せてほしい
世界の鳥の標本がなく写真展示してあるものは褪色がひどい。色が抜けない工夫を期待します。

- ・子供達が喜んで見るので、テラスに置いてある水槽の生き物達を室内に移動できないでしょうか。手賀沼の生き物達(魚など)の展示がもう少し増えるといいと思います。
- ・多目的スペースの触れる資料などを一部剥製が置いてあるフロアに移動して、見ながら体験出来る様にするのはいかがでしょうか。

動物園規模でなくてもよいので、生きている鳥の展示をして、鳥の行動を解説できるようにすると楽しいと思います。

ジオラマは改修したとしても残していただきたいです。実際の鳥の生活を覗き見しているようでとてもワクワクする展示で、凄く楽しめました。

世界の鳥コーナーも部屋に入ってから圧巻でした。

可能であれば特に特徴のある鳥をわかりやすくしてもらえると初心者としては注目しやすいです。

また、個人的に飛んでいる鳥を裏から見たいという思いがあるので、飛んでいる形状の鳥を360°どの角度からも見えるような展示がひとつあると嬉しいなと思います。

日本の野鳥の標本の自然に近い姿の展示、山階鳥類研究所の絶滅種の鳥類の標本の特別展示

企画展と企画展の間が長いと思います。企画展が開催していないと暗くさみしいです。

生きている鳥がいたら、子ども達ももっと楽しめそうです

ふれあいコーナーなどあれば嬉しいです

体験型の展示を増やし、年齢問わず、障害があっても楽しめる施設になってほしい

バーチャル体験やクイズ、鳥博アプリを作るなど。ポイントカードのようなシステムがあっても楽しいと思う。

新しい意見でなくて申し訳ないですが、

鳥の骨格の説明書きや模型、渡りの話等の展示が継続されたら嬉しいです。

バンディングのこと（個体識別の技能を持つ ではなくて、見つけたら報告して などのレベルでいいので）に興味を持つひと（特に子ども）が増えるような展示があったら

もっと報告数が増えるんじゃないかと思いました。

太古の鳥

恐竜時代など

VRなどデジタルとの融合を期待します。

はく製やパネルの展示だけでなく、実際に動いている映像などがリアルに体験できると子供から大人まで楽しめる施設になるのではないかなと思います。

ジャイアントモアが動いている映像をVR体験できるなんてことが実現するなら最高です！

鳥の起源を模型などでも展示して欲しい

触れる。大きさを体感できる。滑空スピード比較。羽の水はじき。幼鳥と成長の見た目のギャップ。性格、性質比較。どの高さまで飛べるのか。上空の高さ別分布。目と首の動く範囲を鳥とその他の動物も比較。どこまで見えるのか。明暗が影響する鳥目。どの部分の力が強いのか。

鳥に特化した一般受けしにくい博物館だと思う。NHKの超進化論みたいに、今まで知らなかった・・・という視点から生態と、それが私達の生活にどうかかわってるか知りたい。

実際に鳥が動いてる様が見られる展示

鳥の雛など、可愛らしさを押し出した電話

体験型の展示

ドラマや映画、アニメに登場する鳥とのコラボ

体験型

対象年齢を決めたほうが良いと思います。本当に専門的な来場者と子供は求めるものが違います。私は、子供を対象にしたほうが良いと思います。

バードカービング展で、目の悪い方のために、タッチカービングに機器をあてると鳥の声を聴くことができるようにしているコーナーがあった。鳥の声は、意外と知らないもので、新しい発見だった。子どもたちにとっても楽しい展示になると思う。

外来種とそれが在来種に与える影響。近年、猛暑日が増えたり秋まで暑い日が続いているが、近年の気候の変化が鳥にどのような影響を与えているか。

展示に関しては、はく製だけでは面白みがないので、映像とコラボして、楽しく鳥の世界を体験させる。企画に関しては、水の館のプラネタリウムとコラボしたり、夏は夜のツアーを実施するなど手賀沼周辺の施設も活かしながら、市外からも集客できるような唯一無二の博物館を目指してもらいたい。

我孫子市鳥の博物館でしか見れない何か

特になし

NHKの「さわやか自然百景」のような鳥の生態（食事、産卵、子育てなど）がわかる動画の充実、鳥の視点に立ったVR体験、鷹匠によるムクドリ追い払い体験・見学・動画視聴

展示物を新たにするというよりも、施設自体を知ってもらうことが重要だと思います。せっかく素晴らしい展示があるので、知る人ぞ知る施設ではなく、多くの方に来場していただけるようアピール（広報の強化、イベントの開催）に力をいれるべきなのではないでしょうか。

手賀沼周辺の自然環境に生息する野鳥は、東京の通勤圏内としては意外と多様なのかなと思います。サシバやフクロウ、シギ・チドリ類などが身近なところに住んでいることを紹介することで、訪れるバードウォッチャーが増えれば良いなと思います。

常設展示をリニューアルすべき。

オープン以来変化がない、30年を超えているので変化を望む。

ジオラマ等の鳥の生息・生体について動きのある楽しい展示があると良いと思います。ディズニーランドのイツ・ア・スモールワールドみたいな感じだと楽しい。建物自体も地味なので、分かりづらいと思います。（随分昔に1度入館しただけなので、昔の記憶をたどって記入しています。現在とは違うかもしれませんが）迫力のある（小さくても鳥が集まっている）展示や身近な疑問に答える展示など、あるといいと思います。（例えば、ムクドリが駅に群がっているがいなくなったらどこに行ったのかや稲刈りの時に様々な鳥が集まって来ているのはなぜなのか？餌があるのを学習してきているのか、カラスは来てないのはなぜかとか、しらすぎが多いのはなぜか。など、最近鳥の疑問に思った事がありましたので、記入してみました。）これは、個人的な疑問なので少数派だと思いますが、多くの人が興味のある内容を精査して分かり易く展示すると印象に残るのではないかと思います。

古代の化石や鳥の先祖等の展示

水の館に行こうと思い、近くだったので鳥の博物館も子どもが寄ってみると言うので久しぶりに入館。クイズコーナーを子どもがやってみたくと取り組んで予想以上に楽しんでしたが、パソコンが古く画像が小さくて古い感じだったので、途中から飽きてしまった。クイズの内容もずっと変わってないように感じたので、クイズコーナーのパソコンを新しくし、体験コーナーを充実させたら、親子連れのリピーターが増えそうと感じた。

剥製の増加と新しい剥製の設置

博物館の閉鎖

山階鳥類研究所に貴重な鳥のはく製があるため、コラボ企画することができないでしょうか？

子どもたちを集めるには、野鳥は難しいですが、生き物の展示が必要と思います。

動く展示

展示標本を見ると生態がわかる展示（スマホなどで）

（飛び方、季節ごとの姿、子育てと成長過程の姿、鳴き声など）

体験型の面白い企画

猛禽類展のような、一つの種に焦点を絞った展示

生体

リニューアルによる活性化により、
絶滅した巨鳥、絶滅した鳥などの企画展
現在レッドデータにある鳥の特集

我孫子市または千葉県周辺で見られる鳥を教えて欲しい

鳥類を起源とする恐竜などへの変化の過程。

意外性を重視した展示。興味を持たせる展示。

入園料を上げてでも体験できるようなイベントを開催してほしい

手賀沼のジオラマは残して欲しいです。
絶滅した鳥の展示、経緯についても残して欲しいです。

子どもたちが楽しみながら学べるような体験型の展示が増えるといいなと思いました。

身近に見られる鳥の生態

自然に見られるもの。

たくさんの鳥のはく製を展示して名前や生息地を紹介して鳥の名前が覚えられるような展示場所が欲しい。

- 手賀沼周辺の鳥をテーマにした展示
- 日本の鳥類を巡る環境問題を考える展示
- 世界の鳥と日本の鳥の共通点や違い
- 標本と合わせて、その鳥の鳴き声が聞けるような展示

古く暗いので子供の興味がそられず、また来たいと思えない。展示に面白みがない。
無料券をよくもらうが、行きたがらないため余っている。もっと積極的に駅などに展示の広告やポスターなどで周知させることも必要だと思う。

ミュージアムショップは面白い商品があり、こどもも知的好奇心をそそられていた。
展示自体を子供でもわかりやすく、鳥好きでも満足できるマニアックさが欲しい。
ここままだとパッと見、上野の博物館行けばいいような内容なので、市外から人を呼べないと思う。

身近な鳥を観察し生態を知りたいです。

入口が殺風景に感じる。来館された子供たちにぬり絵。
もちろん、鳥ですが、張り出したりするのは如何でしょうか。
余計なお世話ですが、春夏秋冬に合わせた鳥や我孫子市に生息や飛来する鳥など。

「トリ類」の現生種のことはもちろん、
絶滅した「トリ類」や、最新科学研究において「鳥=恐竜」という認識が広まってきています。それに対応した常設展示の更新や改修をお願い致します。またミュージアムショップにおける「(有料の)出版物：企画展示の図録や解説書」の『新規作成や改訂版』など増備をお願い致します。m()m
(できれば企画展示、毎に図録やパンフレットを作って欲しいです。)

日本唯一の鳥類専門博物館なので、手賀沼周辺もさることながら日本各地を代表する鳥たちとその生活も常設展示としてほしい。
内山春雄先生のバードカービングで視覚障害者も楽しめる博物館となれば独自性が更に高まる。

日本では見られない鳥の標本増やして欲しい。

子供向けの体験などがあるといいなと思いました。

Q21 ご意見があればご記入ください (任意)

5件の回答

本物に近くても子供でも接しやすく大変興味深かったです。(本日初来館)
ありがとうございます。

一人でゆっくり見て回りたいので、音声ガイドなどがあるとうれしい。

情報が余り無いようです。
情報発信が少なすぎる。隣の施設の付属物のようなアナウンスがされている。

博物館は今ブームにあると聞きます。展示物を見て回るのみの館内よりも、専門家の講演イベントや来場者参加型の催し物、来場者へのお土産などをアピールし、集客できるとよいかと思います。子どもの夏休みの自由研究のお手伝いなどもしてくれるサービスがあると喜ばれるかと思います。

手賀沼の鳥の生息場所、時間がわかる展示が常設されていると嬉しい。